

令和2年度 学校教育自己診断アンケート 教員(34人) 12月実施

- ④ よくあてはまる
- ③ ややあてはまる
- ② あまりあてはまらない
- ① 全くあてはまらない
- ◎ 肯定的評価が80%以上
- 肯定的評価が70%以上
- △ 肯定的評価が50%以上
- 肯定的評価が50%未満

前年比

番号		設 問	年度	人数	④	③	②	①	肯定的評価		前年比	コメント
1	全体(様子)	生徒は楽しそうに学校に来ている	R02	34	44.1%	55.9%	0.0%	0.0%	100.0%	◎	5.9%	2カ月のコロナ休校後、生徒の8割以上が学校に行くのが楽しいと回答しており、その姿を見て全教員がそのように感じている表れ。一方で、友人関係等を悩みを持ち、学校を遅刻・欠席する生徒も少なからず居り、引き続き、個別の生徒指導を行っていく。
			R01	34	17.6%	76.5%	5.9%	0.0%	94.1%	◎	13.0%	
			H30	37	18.9%	62.2%	18.9%	0.0%	81.1%	◎		
2	全体(特色)	本校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある	R02	34	2.9%	67.6%	29.4%	0.0%	70.6%	○	23.5%	
			R01	34	2.9%	44.1%	44.1%	8.8%	47.1%	●	-10.1%	
			H30	35	8.6%	48.6%	37.1%	5.7%	57.1%	△		
3	全体(主体性)	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している	R02	34	20.0%	54.3%	22.9%	2.9%	74.3%	○	4.6%	コロナ感染防止対策を講じ、体育祭・文化祭を実施できたことの現れ。授業においてもペアワークや発表の機会を多く取り入れている現れ。
			R01	33	12.1%	57.6%	30.3%	0.0%	69.7%	○	-6.0%	
			H30	37	16.2%	59.5%	21.6%	2.7%	75.7%	○		
4	学校行事	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている	R02	34	47.1%	38.2%	11.8%	2.9%	85.3%	◎	16.5%	多くの学校が、中止を判断する中、コロナ対策を講じプログラムを策定し、体育祭・文化祭を実施できたことの現れ。
			R01	32	21.9%	46.9%	28.1%	3.1%	68.8%	△	-17.4%	
			H30	36	36.1%	50.0%	11.1%	2.8%	86.1%	◎		
5	部活動	本校の部活動は活発である	R02	34	2.7%	37.8%	45.9%	13.5%	40.5%	●	22.9%	1年生の入部率は例年並み。対外試合等での実績を表彰する機会が多数あったことから、数値的には改善されている。
			R01	34	2.9%	14.7%	52.9%	29.4%	17.6%	●	-18.5%	
			H30	36	2.8%	33.3%	52.8%	11.1%	36.1%	●		
6	教科(計画)	年間の学習指導計画について教科内でよく話し合っている	R02	34	14.7%	67.6%	14.7%	2.9%	82.4%	◎	14.7%	6月に授業が再開となり、各学期の授業時間数が例年とは異なる時間数となったため、当初授業計画からの変更を余儀なくされた。 校内のICT環境整備を進め、プロジェクタ・スクリーンを常設したことにより、授業では動画や資料を提示し、また、ペアワークやグループワーク等の協働学習をもる機会が増えたことが7の教材の工夫の肯定回答に繋がったものと考える。 一方で、長期休暇(夏休み・冬休み)が短い期間であったため、例年通りには講習を実施することができず、11についてはポイントを下げた要因となっている。
			R01	34	8.8%	58.8%	23.5%	8.8%	67.6%	△	-5.9%	
			H30	34	11.8%	61.8%	23.5%	2.9%	73.5%	○		
7	教科(教材)	各教科において、教材の精選・工夫を行っている	R02	34	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	91.7%	◎	9.3%	
			R01	34	17.6%	64.7%	17.6%	0.0%	82.4%	◎	0.0%	
			H30	34	20.6%	61.8%	17.6%	0.0%	82.4%	◎		
8	教科(方法)	生徒の実態を踏まえ、学習形態や学習指導方法の工夫・改善を行っている	R02	34	34.3%	54.3%	11.4%	0.0%	88.6%	◎	6.2%	
			R01	34	26.5%	55.9%	17.6%	0.0%	82.4%	◎	0.5%	
			H30	33	21.2%	60.6%	15.2%	3.0%	81.8%	◎		
9	教科(ICT)	必要な場面で、ICTを活用する授業を実施した	R02	34	75.0%	8.3%	0.0%	16.7%	83.3%	◎	25.8%	
			R01	33	45.5%	12.1%	6.1%	36.4%	57.6%	△	-8.1%	
			H30	35	57.1%	8.6%	5.7%	28.6%	65.7%	△		
10	教科(評価)	テストの得点だけでなく、色々な側面から学習の評価を行っている	R02	34	51.4%	45.7%	2.9%	0.0%	97.1%	◎	-2.9%	
			R01	33	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	100.0%	◎	2.9%	
			H30	34	58.8%	38.2%	2.9%	0.0%	97.1%	◎		
11	教科(講習)	授業以外にも、必要な教科で講習や補習等の取り組みがよく行われている。	R02	34	31.4%	42.9%	22.9%	2.9%	74.3%	○	-16.9%	
			R01	34	26.5%	64.7%	8.8%	0.0%	91.2%	◎	0.0%	
			H30	34	38.2%	52.9%	8.8%	0.0%	91.2%	◎		
12	進路指導	生徒一人ひとりが興味、関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている	R02	34	27.8%	41.7%	27.8%	2.8%	69.4%	△	-8.7%	
			R01	32	21.9%	56.3%	21.9%	0.0%	78.1%	○	-3.7%	
			H30	33	30.3%	51.5%	18.2%	0.0%	81.8%	◎		
13	生徒指導	本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている	R02	34	28.6%	48.6%	22.9%	0.0%	77.1%	○	1.4%	個々の生徒指導においては、教員間の情報共有等により生徒の状況を把握し、カウンセリングマイン
			R01	33	21.2%	54.5%	24.2%	0.0%	75.8%	○	0.8%	
			H30	32	15.6%	59.4%	25.0%	0.0%	75.0%	○		

令和2年度 学校教育自己診断アンケート 教員(34人) 12月実施

- ④ よくあてはまる
- ③ ややあてはまる
- ② あまりあてはまらない
- ① 全くあてはまらない
- ◎ 肯定的評価が80%以上
- 肯定的評価が70%以上
- △ 肯定的評価が50%以上
- 肯定的評価が50%未満

前年比

14	教育相談	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる	R02	34	31.4%	54.3%	11.4%	2.9%	85.7%	◎	0.9%
			R01	33	33.3%	51.5%	15.2%	0.0%	84.8%	◎	-6.1%
			H30	33	30.3%	60.6%	9.1%	0.0%	90.9%	◎	
15	いじめ対応	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	R02	34	24.3%	56.8%	16.2%	2.7%	81.1%	◎	0.4%
			R01	31	19.4%	61.3%	19.4%	0.0%	80.6%	◎	-1.7%
			H30	34	23.5%	58.8%	14.7%	2.9%	82.4%	◎	
16	教育環境	教育環境が整備されている	R02	34	2.9%	44.1%	35.3%	17.6%	47.1%	●	18.9%
			R01	32	3.1%	25.0%	46.9%	25.0%	28.1%	●	-3.1%
			H30	32	3.1%	28.1%	46.9%	21.9%	31.3%	●	
17	教育環境	清掃がいき届いている	R02	34	2.8%	36.1%	41.7%	19.4%	38.9%	●	1.4%
			R01	32	0.0%	37.5%	46.9%	15.6%	37.5%	●	-2.5%
			H30	30	3.3%	36.7%	46.7%	13.3%	40.0%	●	
18	教員の話し合い	本校の教育活動について、教職員でよく話し合っている	R02	34	2.8%	36.1%	41.7%	19.4%	38.9%	●	-25.4%
			R01	28	3.6%	60.7%	28.6%	7.1%	64.3%	△	1.8%
			H30	24	12.5%	50.0%	33.3%	4.2%	62.5%	△	
19	教員の話し合い	評価の在り方について話し合う機会がよくある	R02	34	15.2%	39.4%	42.4%	3.0%	54.5%	△	-5.5%
			R01	25	4.0%	56.0%	28.0%	12.0%	60.0%	△	-5.2%
			H30	23	13.0%	52.2%	34.8%	0.0%	65.2%	△	
20	人間関係	教育活動における問題意識や悩みについて、相談し合えるような人間関係はできている	R02	34	22.6%	32.3%	38.7%	6.5%	54.8%	△	0.0%
			R01	31	9.7%	45.2%	35.5%	9.7%	54.8%	△	-8.5%
			H30	30	20.0%	43.3%	30.0%	6.7%	63.3%	△	
21	振り返り	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	R02	34	25.8%	45.2%	25.8%	3.2%	71.0%	○	10.3%
			R01	28	3.6%	57.1%	28.6%	10.7%	60.7%	△	-8.9%
			H30	23	17.4%	52.2%	26.1%	4.3%	69.6%	○	
22	保護者対応	生徒や保護者からの相談や要望に対して誠実に対応できている	R02	34	39.4%	57.6%	3.0%	0.0%	97.0%	◎	7.7%
			R01	28	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%	89.3%	◎	-6.7%
			H30	25	12.0%	84.0%	0.0%	4.0%	96.0%	◎	
23	保護者対応	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている	R02	34	16.1%	67.7%	12.9%	3.2%	83.9%	◎	10.5%
			R01	30	13.3%	60.0%	26.7%	0.0%	73.3%	○	-11.9%
			H30	27	25.9%	59.3%	14.8%	0.0%	85.2%	◎	
24	広報	学校案内やリーフレット、ホームページなどの広報資料は整備されている	R02	34	42.4%	39.4%	12.1%	6.1%	81.8%	◎	15.2%
			R01	33	15.2%	51.5%	30.3%	3.0%	66.7%	△	-26.2%
			H30	28	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	92.9%	◎	

ドを持って指導にあたるべき。また、生徒指導にあたっては、教員一人ひとりが個別に対応するのではなく、互いがカバーしあい、生徒が、『担任以外にも、相談できる教職員がいる』って思えるよう、声掛けを続けていきたい。
一方で、いじめを起きた際の体制・連絡手順を今年度も示しているが、否定的回答が2割弱ある状況は、管理職として更なる周知を図る。

教育環境整備については肯定回答が増えたが、校舎の老朽化・改善が見込めない問題がある。今年度予定していた校内環境整備(トイレの一部改修)については、順延となっており、関係部署と連携しながら、校内教育環境の整備に努める。

コロナ感染防止の休校により、6月以降の授業再開後、通常の授業、提出物等成績評価に加え、コロナ感染防止策の指導・生徒の健康観察等の業務があり、例年以上の多忙化していることの現れか。新カリキュラムが令和4年度から実施、観点別学習評価の試行が令和3年度実施等、今後指導と評価の在り方等については教科内・学校としての内規策定等、教員間での協議を深める予定。

総務部を中心に渉外対応を組織的に実施。学校紹介パンフレットの刷新により、広報資料整備についての肯定的回答が増えた。一方で、教員の超過勤務も発生しており、次年度に向けて運用の仕方を検討中。